

京都市 AI・ロボティクス導入支援 PoC 補助金 交付申請書

(宛先) 公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 様

所在地 京都市下京区
名称 株式会社京都補助金
代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 京都 太郎
電話

下記のとおり標記補助金の交付を受けたいので、京都市 AI・ロボティクス導入支援 PoC 補助金実施要綱第8条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 補助金申請額 金 2,000,000円
経費の内訳は第1号様式【別紙2】のとおり
- 2 関係書類
 - ・事業計画書（第1号様式【別紙1】）
 - ・事業経費内訳書（第1号様式【別紙2】）
 - ・企業概要がわかる書類（会社案内・カタログ等のパンフレット）
 - ・直近3期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書）
※ただし、創業後3期に満たない場合は創業後の期数分
 - ・市民税、固定資産税及び都市計画税の京都市税に関する納税証明書
（申請日から3箇月以内に発行されたものうち該当するもの）
 - ・事前着手届（第4号様式） ※補助金交付決定以前に事業着手する場合
 - ・令和8年度 京都市 AI・ロボティクス導入支援 PoC 補助金申請に係る申告書

第1号様式【別紙1】

【実施計画書】

※様式は適宜、枠の幅を広げてご記入ください。

第1号様式【別紙1】はA4サイズ6頁以内とします。

1. 企業概要

業種	製造業	創業年月	〇〇年〇月〇日
資本金	10,000千円	従業員数	〇名（内正社員 〇名）
事業実施場所 及び担当者	〒123-4567 京都市 ※事業実施場所は京都市内に限ります。		
	担当者役職・氏名 〇〇〇部 〇〇課 主任 〇〇〇〇 TEL : 075-123-4567 E-mail : 〇〇@〇〇 ※必ずご連絡が可能な連絡先を記入してください。		
主要取扱品・ サービス	〇〇〇 (〇 %)	〇〇〇〇 (〇 %)	〇〇〇 (〇 %)
	(%)	(%)	(%)
年間売上高	〇〇〇千円 (〇〇年〇〇月～ 〇〇年 〇〇月)		
URL	https://www.〇〇〇.or.jp/		
各種認定	<input checked="" type="checkbox"/> オスカー認定企業 <input type="checkbox"/> 京都市ベンチャー企業目利き委員会 A ランク認定企業 <input type="checkbox"/> 知恵創出“目の輝き”認定企業		

事業内容 (取扱商品・ サービス)	(事業概要、自社の強み、主な顧客、特徴について記載してください。) 〇〇の製造・開発・販売 〇〇メーカーを顧客として、当社が自社開発した〇〇技術を用いて、〇〇の製品開発、生産、販売を行っている。併せて、〇〇の保守点検や補修サービスを顧客に提供している。
	主な取扱商品として、 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
住所 (本社所在地)	〒〇〇〇- 京都市〇〇

本社以外に事業所がある場合						
名 称		所 在 地			従業員数	
〇〇営業所		〒〇〇 〇〇県〇〇市・・・・・・・・			5名	
〇〇工場		〒〇〇 〇〇県〇〇市・・・・・・・・			30名	
		〒				
株主構成			主要取引先			
株主名	会社との関係	比率 (%)	販売先	比率 (%)	仕入先	比率 (%)
京都太郎	代表取締役	70%	株〇〇	30%	株◎◎	20%
京都花子	取締役	30%	△△株	20%	==株	10%
			株△△	10%		
その他			その他	40%	その他	70%

2. 概念実証 (PoC) 実施計画

※申請様式によりがたい場合は、以下の内容を踏まえた資料を提出してください。

※図や資料を用いて、分かりやすく記載してください。

(1) 解決すべき自社の課題と本 PoC の目的
<p>*現状業務における課題（人手不足、作業時間の増大、品質のばらつき、技能継承、設備稼働率の低下等）と、その課題によって発生している影響（コスト増、売上機会損失、顧客満足度低下等）をできるだけ具体的に記載してください。</p> <p>*AI・ロボティクスの活用により、どのような状態を実現したいのか、本 PoC の目的を明確に記載してください</p>
(2) 本 PoC の目標
<p>*PoC 終了時点で達成を目指す具体的な目標を可能な限り数値目標（KPI）をとして設定してください（例：作業時間〇〇%削減、検査精度〇〇%以上、異常検知率〇〇%以上等）。PoC 成功／不成功の判定基準についても記載してください。</p>

<p>(3) 本 PoC で対象とする業務・設備等の範囲</p>
<p>*PoC の対象となる業務、工程、設備、製品、サービス等の範囲を、業務フロー図などを用いて具体的に記載してください。</p>
<p>(4) 本 PoC での検証内容</p>
<p>*PoC で検証する仮説を記載してください（例：「画像認識 AI により不良品検出精度〇〇%以上を目標とする」など）。比較対象（現行の人手作業等）がある場合は、その比較方法も記載してください。</p>
<p>(5) 試作等を行うシステムの概要</p>
<p>*PoC で構築・試作するシステムの概要（利用する AI 技術、ロボット、センサー、カメラ、ソフトウェア、クラウドサービス等の構成図とデータ処理の流れ）を記載してください。</p>
<p>(6) 本 PoC の実施方法</p>
<p>*PoC をどのような手順で行うかを、時系列で記載してください。</p>
<p>(7) スケジュール</p>
<p>*上記の実施手順にもとづき、PoC 期間中の具体的な実施項目（大項目の例として環境構築、データ準備、検証作業実施、評価・分析、報告書作成など）と実施時期を記載してください。</p>
<p>(8) 実施体制</p>
<p>*簡単な推進体制図（オーナー／責任者／担当者）を部署名・役職入りで記載してください。また、担当者が本件対応に割ける時間が、おおよそどのくらいあるか（〇日／月）を記載ください</p>

【事業経費内訳書】

1-1 事業経費一覧

単位：円

費用区分	補助事業に要する経費 (税込)	補助対象経費 (税抜)
ハードウェア購入費	378,400	344,000
ソフトウェア購入費	308,000	280,000
システム構築費	2,530,000	2,300,000
クラウドサービス利用料	99,000	90,000
知的財産権取得費		
導入関連経費	6,600	6,000
合 計	3,322,000 円	(A) 3,020,000 円

2 補助申請額

$$\boxed{\begin{matrix} (A) \\ 3,020,000 \end{matrix}} \text{ 円} \times 2/3 = \boxed{\begin{matrix} (B) \\ 2,013,333 \end{matrix}} \text{ 円}$$

補助申請額：(B) 又は200万円のうち低い額

※千円未満切捨

(補助申請額)
2,000 千円

1-2 事業経費一覧内訳

費目区分	内 訳	数 量	補助事業に要す る経費 (税込)	補助対象経費 (税抜)
ハードウェア 購入費	エッジ AI ボード ○○社製△△, @132,000*2	2	264,000	240,000
	◎△社製 LPWA センサモジュール @57,200*2	2	114,400	104,000
	小計		378,400	344,000
ソフトウェア 購入費	□□社製◎○○ Ver.n (データ分析用)	1	308,000	280,000
	小計		308,000	280,000
システム 構築費	データ分析ソフトウェア開発費	1	2,530,000	2,300,000
	小計		2,530,000	2,300,000
クラウドサー ビス利用料	IoT データ分析クラウドサービス (◎◎ 社 XX プラン、¥19,800/月)	5	99,000	90,000
	小計		99,000	90,000
知的財産権 取得費				
	小計		0	0
導入関連 経費	機器輸送費 (@2,200/回、3回)	3	6,600	6,000
	小計		6,600	6,000
補助対象経費合計			3,322,000	3,020,000